



脳科学者である養老孟司先生に、「科学技術ジャーナリストに求められるもの」と題してご講演頂きます。また、各メディアで活躍されている現役の科学技術ジャーナリストの方々をお招きし、理系白書シンポジウムを開催致します(早稲田大学・毎日新聞社共催)。このシンポジウムでは、科学技術を実際にどう伝えていくのか、またそれに対する今後の展望などについてパネルディスカッションを行います。



早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール

養老孟司 先生

※4/8 申込多数につき会場を変更しました

[ご参考記事： 毎日新聞朝刊 15 面\(2006 年 3 月 22 日付\)](#)

日時：2006 年 4 月 21 日(金)13:30～17:30(13:00 開場)

場所：[早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール\(地図\)](#) ← **会場が変更になりました！**

対象：科学技術ジャーナリズムに関心のある方ならどなたでもご参加頂けます。

費用：無料

参加方法：4/15 定員到達につき事前申込の受付を終了いたしました。当日申込も受け付けますが、入場を保証するものではありません。事前申込の方が優先されますので、予めご承知置きください。なお、メイン会場の他、第二会場に大型モニターを設置し、セミナーの映像を配信する予定です。

13:00	開場
13:30～14:00	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 伊東孝之（早稲田大学大学院政治学研究科 研究科長・教授） ・来賓挨拶 吉川晃（文部科学省科学技術・学術政策局 科学技術・学術総括官） ・プログラムの概要説明 谷川建司（早稲田大学大学院政治学研究科 プロジェクト・マネージャー・助教）
14:00～14:50	第一部 基調講演 『科学技術ジャーナリストに求められるもの』 養老孟司
14:50～15:00	休憩
15:00～17:30	<p>第二部 理系白書シンポジウム 早稲田大学・毎日新聞社共催</p> <p>『科学技術をどう伝えるか ～ジャーナリズムの可能性～』</p> <p>◆パネリスト(50音順)</p> <p>西村吉雄 (早稲田大学教授、元日経エレクトロニクス編集長)</p> <p>松本俊博 (NHK科学環境番組部チーフプロデューサー)</p> <p>元村有希子 (毎日新聞科学環境部記者、「理系白書」ブログ管理人)</p> <p>湯本博文 (学研「大人の科学」総合プロデューサー、科学創造研究所所長)</p> <p>横山広美 (サイエンスライター、総合研究大学院大学上級研究員)</p> <p>◇司会 瀬川至朗(毎日新聞科学環境部長) (16:15より15分間休憩)</p>